

ピースボート災害ボランティアセンター 東日本大震災関連

2012年7月8日

ピースボートのボランティアが、石巻の漁村で新プロジェクト — 浜の誇りとシンボルを！ 漁具用貨物コンテナに大漁旗を描こう！ —

昨年3月より、東日本大震災の被災地・宮城県石巻市・女川町で支援活動が続けているピースボート災害ボランティアセンター(以下、ピースボート)では、漁業・浜支援の一環として、「コンテナに大漁旗を描こう！」という新しいボランティアプロジェクトを実施しています。



対象となる地域は、津波で甚大な被害を受けた石巻市牡鹿半島。浜の漁師たちも養殖を再開するなど、復興を目指した懸命の努力が続いています。ブイや網などの漁具を保管していた小屋も多くが津波で流されましたが、いまは県の補助金なども受けて購入した貨物用コンテナを数世帯で分け合っているケースが多く見られます。

業務用で無地の貨物コンテナが、がらんとむき出しになった土地にポツンと置かれている姿は、どこか味気ないもの。漁業支援などで知り合ったある漁師さんから、「このコンテナを復興に向けて頑張る浜のシンボルにしたい」と相談され、大漁祈願と安全祈願のための大漁旗を描くプロジェクトが始まりました。

作業は、ボランティアが水洗いや錆落とし、白いペンキを全面に塗ります。その後、隣町の女川町のメンバーで構成されるデザイン・職人集団「女川アートギルド」が下絵を描き、再度ボランティアが色を付けます。大漁旗と浜の名前が入ったカラフルなコンテナは、そこを通る人が車を止めて写真を撮っていくなど、新しい人の流れを生み出しつつあります。完成したコンテナを見た漁師さんからも、「一生の宝物、浜の誇りです」と喜んでいただいています。

現在は、複数の浜から20個を超えるリクエストをいただいております。ピースボートでは、雨天を除く7月中の平日は毎日ボランティアで作業をしていく予定です。取材・報道など、ぜひご検討ください。

○プロジェクトの詳細は、<http://pbv.or.jp/blog/?p=6274>

※作業前、作業中、完成後の写真の提供も可能です。

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター (事務局: 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1)

TEL: 03-3363-7967 MAIL: kyuen@pbv.or.jp